



吉川市立旭小学校

え の き

あかるい笑顔 さわやかな汗 ひとみ輝く 伝統校

〒342-0006

学校教育目標
あすを生きる
豊かさ学ぶ
あさひの子

吉川市南広島 1940

令和2年10月1日 発行

TEL.048-991-2156

あたりまえのこと

校長 栗原 元一

早いもので、令和2年度が半分終わり、折り返しとなりました。教室訪問をしてみると、1年生もすっかり学校生活に慣れ、落ち着いて学習に取り組んでいます。6年生は最上級生らしく、よく考え、しっかりと学ぼうとしている姿が見て取れます。学校生活の中で、「静かに授業を受ける。」「集団生活のルールを守って生活する。」など、あたりまえのことがあります。実は、これがなかなか難しいことです。授業中、「それ、知っています。」「私もやったことある。」など、小さな喧嘩だけで済めばよいのですが、ついつい、多くの子が反応して、教室が騒がしくなりがちです。また、休み時間など教室移動の際に、廊下を走ってしまったり、大声で歩いたりしがちです。しかし、旭小の子は違います。つられずに調子に乗らない子、「静かにしましょう。」と声をかける子。それを聞いて話をやめ、もとの静かな授業に戻ります。休み時間の教室移動も、クラスごとに並び整然と歩いています。このような、「あたりまえのこと」をできる旭小の子を誇らしく思います。

少々先の話になりますが、11月7日（土）に今年度初の授業参観を予定しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施してきた旭小フェスティバルは、やむを得ず中止といたしました。また、参観者の密を少しでも避けるため、従来の学校公開とはせずに、参観者を保護者の皆様限定するとともに、地区別に来校時間を区切つての授業参観といたします。（詳細は、後日配付の文書にてご確認ください。）

今年度は、特にたいへん貴重な機会です。お子様の学習の様子をぜひ、ご参観ください。授業に集中しているでしょうか。手を挙げていなくても、瞳を輝かせ授業に臨んでいるでしょうか。学習用具は揃っていますか。ロッカーは整理されていますか。くつを揃えて下駄箱に入れてありますか。みんな「あたりまえのこと」です。しかし、それができていることは、すばらしいことです。ぜひ、家庭内では見ることのできない、学校内での子供たちのよさを見つけ、認め、励ましていただければ、幸いです。

褒められると子供たちは、「これでいいのだ。」と理解をし、さらに褒められることを行おうと努力します。それが、子供たちの力となります。「あたりまえのこと」は、大切なことなのです。

（右の写真は9月5日・1年生の授業の様子）



10

月

**10月の
生活目標**

当番や係、委員会

の仕事をしっか

りやろう

学年	男子	女子	合計
1年	9	8	17
2年	15	12	27
3年	13	15	28
4年	13	8	21
5年	18	15	33
6年	16	18	34
なかよし	6	5	11
合計	90	81	171



9/12 PTA資源回収

コロナ禍で1学期にできなかったPTA資源回収を行いました。保護者や地域の皆様方の協力のおかげで、PTA活動が支えられています。ありがとうございました。

行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	木		16	金	運動会準備（4，5，6年）
2	金		17	土	運動会
3	土	土曜日授業6時間（給食あり） 1～5年遠足・社会科見学保護者説明会（10：00） PTA除草作業（8：30～9：45）	18	日	運動会予備日①（雨天時月曜授業）
4	日		19	月	振替休業日
5	月	全校朝会（放送）	20	火	運動会予備日② クラブカット6時間授業
6	火	運動会練習開始 運動会係打ち合わせ（4，5，6年）	21	水	6年修学旅行（鎌倉市方面）
7	水		22	木	
8	木		23	金	
9	金		24	土	土曜日授業6時間（給食あり）
10	土		25	日	開校記念日
11	日		26	月	
12	月	運動会テント設営（吉川市旭自治連合会）	27	火	委員会活動
13	火	PTA挨拶運動（6年）運動会係打ち合わせ（4，5，6年）	28	水	就学時健診 全校短縮3時間授業
14	水		29	木	4年社会科見学（岩槻・東玉 春日部・龍Q館）
15	木		30	金	5年遠足（筑波山）
			31	土	

スクールカウンセラー活用のお知らせ

月に1度、午前中スクールカウンセラーが勤務いたします。次回は10月15日（木）になります。相談等を希望される場合は、教頭までご連絡ください。

旭小フォトギャラリー



**第1回学校評議員会
(8/27)**



**民生委員・主任児童委員
(8/28)**



**修学旅行保護者説明会
(9/18)**

吉川市教育大綱

家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として生きていく